

令和3年度第3回東員町地域公共交通会議の書面決議結果

議案第1号 東員町地域公共交通計画の事業実施状況及び目標達成状況の評価について

異議なし 14  
異議あり 0

①令和3年度の東員町地域公共交通計画の事業実施状況及び目標達成状況の評価、令和4年度に実施予定の事業についてのご意見

- ・地域公共交通計画の評価を行った際には、その結果を所定の様式により国へ送付いただく必要がございます。次回からは国への送付様式についても資料として添付いただくのが望ましいです。
- ・事業実施状況の評価は、地域公共交通会議の重要議題であり、次回の実施（対面）開催の際は、適切なフォローをお願いしたい。
- ・三岐鉄道北勢線においても、新型コロナウイルス流行の影響があり、利用者数の目標未達成となりました。今後、新型コロナウイルス流行の影響が無くなった暁には、利用促進活動に努め、コロナ禍以前の利用水準に戻せるよう努力して参ります。
- ・コロナ禍での目標達成状況の評価は、何と比較するかなど注意が必要。鉄道関連では、北勢線数値などと比較し上回れば、達成状況を修正してもよいのではないか。三交バスの桑名阿下喜線も同様。修正値の考え方を中部運輸局は提示すべきではないのか。

②公共交通全体の利用者向上に資する取り組み等のご提案

- ・他自治体は公共交通の利用に関し通学定期への補助を行ったり、市町営バスの無料乗車券を配布する取組を行っている事例もあり、町への負担が増すことになるものの、このような取組について、ご一考願いたい。

議案第2号 令和4年度東員町地域公共交通会議 歳入歳出予算（案）について

異議なし 14  
異議あり 0

ご意見

特になし

議案第3号 東員町オレンジバスへのキャッシュレス決済（J P Q R）の試験導入について

異議なし 13  
異議あり 1

## ご意見

- ・北勢線との連携を急ぎたい。
- ・お年寄りには丁寧な説明を。
- ・QRコードによる方法は、乗客がアプリの立ち上げ、QRコードの読み取り、金額入力、支払操作が必要と思われる。ラッシュ時には時間がかかりすぎて、朝の運行に支障が出るのではないかと。むしろ交通系カードが良いのでは。
- ・交通系IC決済（タッチ決済）と異なり、コード決済はアプリ起動→金額入力→金額確認→決済と、手間と時間が必要となることから、試験導入の中で定時制や運賃トラブル（誤った金額での決済など）など、支障が発生した場合の対応について、遺漏なきようお願いしたい。
- ・「キャッシュレス化の推進」については、近年求められているニーズの1つであると認識しております。今回提案のあったJPQR方式については、オレンジバスの利用実態および利用者数から鑑みても、試験導入に値するものと考えます。
- ・キャッシュレスの取組みの選択肢は、ほかにもありJPQR選択の経緯が見えない。ICカード、ミエカードなど民間交通と比較対象があってもよいのではないかと。導入経費が安価なのはよいが、コミバスの主たる利用者が高齢者でスマホ等を使いこなしている人は、まだまだ少数。面倒でもカード等へのチャージから移行のほうがスムーズではないかと。理想像は理解するが、時期尚早と判断する。
- ・鉄道、民間バス、コミバスと手法が違ふことは、交通手段を複数利用の方にとっては、かえって不便となるのではと推測する。国交省補助（訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金）も検討すべきではないかと。

## その他のご意見等

- ・キャッシュレス化の推進については、三岐鉄道北勢線においても検討を進めて参ります。
- ・〇か×かの選択であるが、絶対反対かと言うとそこまで反対するものでもない、プロセスを注意すれば問題ない。コミバス導入から18年目となり、オレンジバスが町内交通手段の特効薬でないことは、理解されているはず。高齢化が加速している中で、オレンジバスの先となる選択肢を検討すべき時期に来ていると推測する。